6月議会報告

6月定例議会は6月3日から21日までの19日間の日程で開催されました。

- 議案34号幸手市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…………… 否決
- 専決処分承認を求め件議案4件…………… 承認
- 幸手市一般会計補正予算(第2号)を含む議案7件…………… 可決
- 教育委員会委員の任命 農業委員の任命14件 監査委員の選任…………… 同意
- 意見書案第1号倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書…………… 可決

(議案第39号)
令和6年度幸手市
一般会計補正予算
(第1号)

令和5年11月に閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」への対応として物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金4億5973万7千円が追加補正されました。

(主な内容)
・ 定額減税調整給付金
定額減税の対象でありながら、定額減税しきれないと見込まれる方にその差額分を調整給付金として1万円単位で給付されます。

(議案第62号)
監査委員の選任に
ついて

幸手市の監査委員は、2名置くとされており、その内1名は自治体の行政運営に詳しい人、もう一人は議員の中から市長が提案し議会の議決を得て選任されます。

しかし昨年5月の市議会議員の改選から1年以上以上議会議員選出の監査委員が決まっていない状況でしたが、最終日の追加議案として市長から提案がなされ賛成多数で可決されました。

6月定例議会本会議
議案質疑及び討論内容

(議案第39号)
専決処分の承認を求める
ことについて(専決第7
号)令和6年度幸手市一
般
会計補正予算(第1号)

質疑
定額減税による個人住民税の減少分の補填について伺います。

答弁
今回の補正予算においては、定額減税しきれないと見込まれ

る方に対する給付に係る予算を計上しておりますことから、定額減税による個人住民税の減収分については含まれておりません。
定額減税による個人住民税の減収分の補填については、全額、国からの地方特例交付金で補填されることとなります。
歳入の時期については、定額減税による減収分は、地方特例交付金として9月に交付される見込みです。令和6年度予算における市民税については、定額減税分を見込んでいない数値となっており、9月議会において定額減税分を踏まえた市民税の減額と、今申し上げました地方特例交付金の増額を計上した補正予算を編成いたします。

(議案第62号)
監査委員の選任について

質疑

監査委員の提案にあたり、議長からの調査依頼に対応はしましたか。

傷害事件の被害者に対して、「あなたはおっと大人になりなさいよ」と、こういうことを言うこと自体問題です。監査委員は、議長に嘘の報告をしたり、パワハラ、モラハラや、長時間職員を拘束したりするということが指摘されています。

答弁

基本的には職員の方からそういう報告は上がってきておりませんので、そもそも調査をする対象がないということ、調査はしてございません。

(請願第1号)
幸手市立武道館のエアコン設置に関する件

賛成討論

大平 泰二

請願文書にもありましたが、今や夏の時期は非常に高温多湿という中で、命をどう守るかと言

う問題となっています。

エアコン設置問題については、いろんな形で討議する計画が進められているということになっていくわけです。

命に関わる問題の中で、文教厚生常任委員会ではエアコン設置請願に反対という信じられない決議を行いました。

市民の健康と命を守るために皆さんがどう守るかと言う立場を議会として取るならこのような反対と言う立場は取れないのではないかというふうに思います。

ある方が、議会の本会議場のエアコンを全部切って、武道館と同じ状況にして仕事をしてはどうか。議会は市民の命と健康を守る立場からスポーツ文化レクリエーションを、きちつと楽しんでいただく場を保障するべき。と、話していました。エアコンはリースでも、また分割でもできるわけです。

議会が反対した学校給食の無料化問題も、18歳までの医療費の無料化の問題もそうです。市民要望は色分けをしないで、きちつと市民の要求に目を向けていたいただきたいというふうに思います。

この点を指摘し、武道館にエアコンを設置する請願の賛成討論とします。

請願第1号

幸手市立武道館のエアコン設置に関する件

請願趣旨

武道館建設当時の1984年7月では最高気温が29度程度であったため、武道の考え方からすれば、暑さも修行の一環と言うこともあったかと存じます。

現在では、室温は上昇の一途を辿りましてスポットクーラーを稼働しても40度を超えてきております。つまり、熱中症による命の危険があるということになります。2024年の夏では、暑さ指数(WBGT)は新設された「35」を超えてしまうものと想定しております。

また、冬場におきましては、温度環境が低い中での運動は怪我が発生しやすいと言われております。温度が低いと身体はどうしても熱を逃がさないように縮めてしまい、これによって関節や筋肉なども動きにくくなってしまいます。関節や筋肉の動きが十分ではない状態ですと、頭の中で描いている動きと実際の体の状態にズレが生じ、力加減や繰り返される強い負荷によって怪我が誘発されることは通説となっております。

- ・利用者の日常環境が大幅に変化してしまった。
- ・指導者が年々高齢化し、身体の負担が大きすぎる。
- ・環境が悪いため、利用者の活用の幅が狭まる。
- ・青少年育成において武道必修化に向けた環境の整備。

請願項目 幸手市立武道館にエアコンを設置してください。

紹介議員 小泉 圭 司

意見書案第1号

倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書

一級河川倉松川は現在、埼玉県による改修工事が進められています。水害の危険性の高い幸手市にとって、この事業は地域住民の安全安心な生活に欠かせないものであり、幸手市議会としても積極的に支援協力すべき重要な事業と認識しております。

今後の計画では、国道4号線幸手橋から東武鉄道橋までの区間において川幅を約20mに広げ、兩岸の管理用道路についても4mの幅員とするなど、水害対策だけでなく生活環境の向上にも大きな効果が期待されておりますが、当該区間にかかる「雁橋」と「503号橋」の2か所の橋梁については、幸手市と協議のうえ廃止する方向で進めるとの説明がされています。

廃止の方向性とされたこれらの橋は、古くから地域住民に利用されているもので、特に「雁橋」については日常生活に支障をきたすとの理由から、廃止に反対する市民からの請願が市議会に寄せられております。河川の安全性確保や管理用道路の拡幅による利便性の向上が橋梁廃止の理由とされていますが、令和6年3月に幸手市内で開かれた説明会において方針が示されるまで、事前の協議や説明もなく、地域住民も困惑しています。

このように現状では、事業に対する理解が十分に得られているとは言い難く、今後は、より地域住民に寄り添った事業運営を期待するものです。

つきましては、倉松川改修事業においては、つぎの措置を講ずるよう求めるものです。

- 1 「雁橋」については廃止の方向性を見直し、再度その必要性等を考慮のうえ計画を修正すること
- 2 事業の進捗にあたっては、地域住民の声を可能な限り反映させるとともに、適切に説明を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和6年6月21日

埼玉県幸手市議会議長 枝久保 喜八郎

提出先 埼玉県知事 大野元裕 様

意見書は、幸手市管理の橋の存続を埼玉県に提出するというものですが、問題となっている橋の所有者は幸手市と聞いています。

したがって、幸手市の管理のもと市が架け替え存続工事をするわけです。議会が取り扱う問題としては、まず、管理者（幸手市）を相手に議会の意思をきちっと伝えるということが大事なことではないかなと考えます。

その意見を調整した上で、埼玉県の方に橋の存続を求めているということですが大事なことでないかと考えます。

私は橋を存続させるっていいことについては反対ではありません。機能保障をして、便利で安全な地域を作っていくっていいことについては、ぜひとも進

反対討論

大平 泰二

（請願第2号）
「倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書」を埼玉県に提出することを求める件

めていかなくはならない。ただ話の進め方として、ルールに従って正しく伝えていくということはずごく大事ではないかと。したがって願意について、私は妥当だと思えますけれども、議会側の話の進め方として県提出では話が違うのではないかと考えています。

(意見書案第1号)
倉松川改修事業に伴う橋梁廃止の見直しを求める意見書

質疑

東武鉄道から4号線までの間に5本の橋が掛っているがそれぞれの間隔と橋の利用者数また橋の近隣世帯数について。

答弁

意見書を提出することが決定したものですから、それに伴って意見書案を出したということであります。したがってそれらの内容については、意見書案とは違うものだなというふうに思います。

人事案件

農業委員会委員

伊丹 栄氏	石川 広氏	倉持 昭夫氏	山中 栄氏	増田 隆司氏	船川 由孝氏	眞中 一夫氏	松島 政雄氏	増山 勝一氏	江森 敦夫氏	新井 智子氏	野川 博氏	熊谷 隆夫氏	植竹 一寿氏

を任命することに同意しました。

教育委員会委員

林 晴実氏

を任命することに同意しました。

監査委員

松田 雅代議員

を選任することに同意しました。

表彰

全国市議会議長会第100回定期総会において昨年度、評議員を務めた枝久保喜八郎議員に対し感謝状が贈られました。

6月定例会 会期日程

- 6月3日(本会議)
 - ・開会・会期の決定
 - ・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月4日・5日・6日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 6月12日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 6月13日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 6月14日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
- 6月17日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 6月21日(本会議)
 - ・委員長報告 質疑、討論
 - 採決・閉会

6月定例会

傍聴者

53人の方が傍聴されました。
議会インターネット中継のアクセス件数
 インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

4月 93件	5月 87件	6月 2,448件
-----------	-----------	--------------

の方が視聴されました。